

テーマ（タブレットの導入による記録作業の効率化）

法人名：株式会社ティムテクノロジー
事業所名：未来塾デイらくば
主な提供サービス：放課後等デイサービス

機器導入前の事業所内の状況

- ◆事業所内において休養室や普段使用する支援室とは違う教室での出来事をリアルタイムで記録できない
- ◆個別支援計画書の説明・修正確認時にその都度紙で印刷を行っており、二度手間かつ資源の無駄になっている

業務の非効率

- ◆支援終了後に職員のPCがある場所へ移動し記録をする必要がある(記録の遅延)
- ◆職員が移動して記録・確認をする為動線が非効率

職員の負担増加

- ◆リアルタイムで記録に残せない為、記録時の入力時間、思い出す時間が増加する。

職場環境の課題
・
・
・

支援の質・量の確保

- ◆職員の記憶に残る記述となるので、子どもの様子が正確に伝わらず、細かな支援の方法を共有できない（支援の一貫性が損なわれる）

人材確保・定着

◆

テーマ（タブレットの導入による記録作業の効率化）

機器導入に至ったきっかけ

◆子どもとの関わりの時間を確保しつつ、記録等の作業時間を減らしたい

→どこにいても子どもの様子をリアルタイムで記録・共有し、きめ細かな支援の質の向上や職員の負担軽減を図りたい

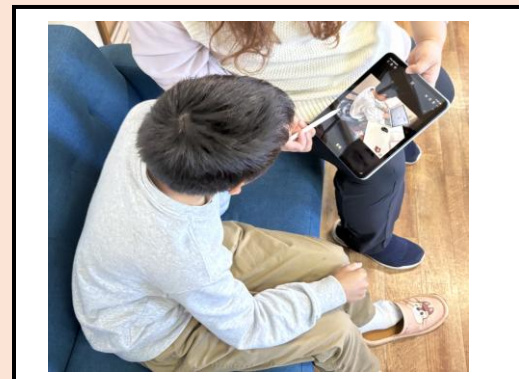
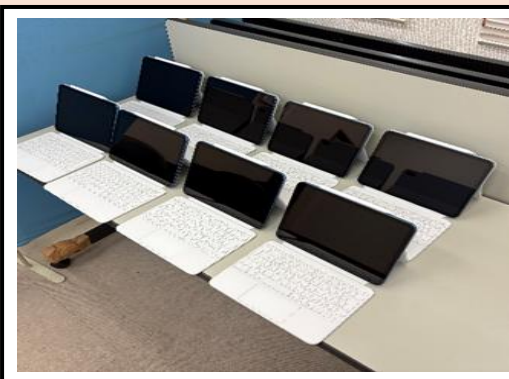
導入した機器

- ◆タブレット
- ◆キーボード
- ◆タッチペン

活用方法・活用場面

◆従来のノートPCではなく、タブレットからの記録となるので持ち運びがしやすくリアルタイムで子どもの様子を事業所内のどこにいても記録することができる。

◆利用者とのモニタリング時や個別支援計画書説明・変更時に即時に反映し、印刷することができる



テーマ（タブレットの導入による記録作業の効率化（見込み））

業務の効率化・生産性向上

- ◆職員が記録のために移動することがなくなるため、リアルタイムで子どもの様子を記述することができる
- ◆移動時間が子どもとの関わりの時間に充てることができる。

職員の負担軽減

- ◆様子を思い出す時間などにかかっていた支援後の記録時間を短縮させることで、職員の作業効率を高めることができる

支援の質・量の向上

- ◆職員の記憶に頼らない記録となるのでより正確に職員間で共有、また支援の質を向上させることができる
- ◆片付けや姿勢保持が難しい子どもの状態を写真等で記録し、視覚的にどうしたら改善できるかを一緒に考えることができる

職場環境の改善へ

人材確保・定着

◆

職員の声や今後の展望等

- ◆ビジネスチャットツール等を使用し、より事業所内で情報共有や一貫した支援を行っていきたい